



平成28年8月21日発行(年4回発行) 東京消防庁企画調整部広報課 〒100-8119 東京都千代田区大手町1-3-5 電話:03-3212-2111(代表) ホームページ: <http://www.tfd.metro.tokyo.jp>

主な掲載内容 < 2・3面 > 地震その時10のポイント/地震から命を守る!家具転倒対策/身近なものを利用しての救出・救護
< 4面 > 優マーク制度/あなたの力が必要です!消防団員募集!
Miniコラム プレゼントコーナー

9月9日は救急の日 救えるはずの「命」を救うため! 救急車の適正利用をお願いします!

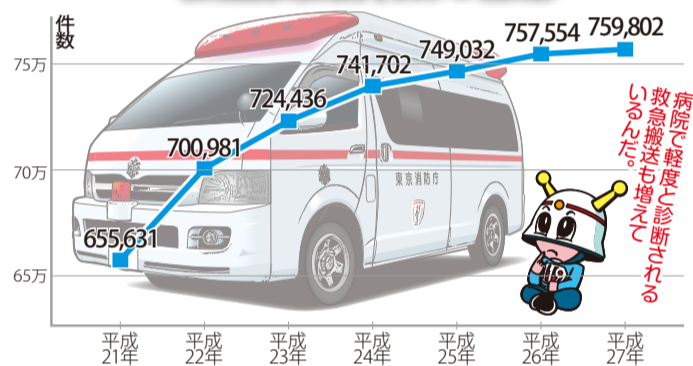


救急出動件数が過去最高に!!

昨年、救急出動件数が759,802件を記録し6年連続で過去最多を記録しました。特に65歳以上の高齢者層が全搬送人員の49.9%を占め、今後とも高齢化の進展に伴い救急要請の増加が見込まれます。

東京消防庁では、平成27年度に救急隊を5隊増強配置し、本年6月には救急要請件数の変化に応じて待機場所を移動する救急機動部隊を発隊させるなど増加する救急要請への対応を進めています。

救急出動件数の推移



あなたの応急手当が命を救う!

急な病気やけがなど救急事故の現場に居合わせた人(バイスタンダー)が、救急車の到着までの間に応急手当を行うことで、命を救うことや症状の悪化防止などに貢献できます。もし、人の命にかかわる場面に遭遇したとき「何もできない」ではなく、自分ができる範囲のことを自信を持って行うことで、あなたにも救える命があります。

東京消防庁では、都民のみなさまや事業所を対象とした救命講習を行っています。講習修了者には、救命技能認定証が交付されます。詳しくは、お近くの消防署へお問合せください。



病院へ行くか、救急車を呼ぶか迷ったら?

急な病気やけがをして病院へ行くか、救急車を呼ぶか迷った場合には、24時間電話で相談ができる「救急相談センター(＃7119)」、インターネットで緊急度や受診する科目を確認できる「東京版 救急受診ガイド」の2つの安心サービスをご利用ください。

真に救急車を必要とする人のため、救急車の適正利用をお願いします。ただし緊急性があると思った時は、ためらわず119番通報をしてください。

FIRE NEWS 最新情報

心肺蘇生の方法が見直されました。
JRC(日本版)ガイドライン2015の公表を受け、東京消防庁では、平成28年7月1日から、新しいガイドラインに基づく応急手当の講習を開始しました。新しいガイドラインによる救命講習を受講しましょう。

何が変わった? 例えば...

1. 胸骨圧迫の深さは約5cm
2. 胸骨圧迫のテンポは1分間に100回~120回

5年に一度のガイドラインは、見直しがあります。

深さは約5cm! テンポは1分間に100回~120回

東京消防庁 **救急相談センター**
[24時間受付・年中無休] 携帯電話 PHS ブッシュ回線

7 1 1 9

つながらない場合は... 23 ☎ 03-3212-2323 多摩地区 042-521-2323

東京版 **救急受診ガイド**

病気やけがの緊急度や受診する科目が東京消防庁ホームページで確認できる!
<http://www.tfd.metro.tokyo.jp>

携帯電話は **こちらから**

スマートフォンは **こちらから**

救急医療週間 9/4(日)~9/10(土) 大切な命を救う その勇氣 (平成28年度 東京消防庁救急標語 作者 芳原 さらさん (中野区在学))

地震その時10のポイント



今年4月に発生した熊本地震では、大規模な被害が出ています。東京においても、首都直下地震の発生が危惧されており、いつ起きるか分からない地震に備え、各家庭や地域で今からできる安全対策が必要です。

緊急地震速報を受けたり地震の揺れを感じたら、まず身の安全を最優先しましょう。自分の身の安全を図ることで、けがを防ぎ、地震後の避難や救出・救護などがスムーズに行えます。

地震時の行動

地震だ！ まず身の安全

- ◆揺れを感じたり、緊急地震速報を受けた時は、身の安全を最優先に行動する。
- ◆丈夫なテーブルの下や、物が「落ちてこない」「倒れてこない」「移動してこない」空間に身を寄せ、揺れがおさまるまで様子を見る。

[高層階(概ね10階以上)での注意点]

- ◆高層階では、揺れが数分続くことがある。
- ◆大きくゆっくりとした揺れにより、家具類が転倒・落下する危険に加え、大きく移動する危険がある。



地震直後の行動

落ちついて火の元確認 初期消火

- ◆火を使っている時は、揺れがおさまってから、あわてずに火の始末をする。
- ◆出火した時は落ちついて消火する。



あわてた行動 けがのもと

- ◆屋内で転倒・落下した家具類やガラスの破片などに注意する。
- ◆瓦、窓ガラス、看板などが落ちてくるので外に飛び出さない。



窓や戸を開け 出口を確保

- ◆揺れがおさまった時に、避難できるよう出口を確保する。



門や塀には近寄らない

- ◆屋外で揺れを感じたら、ブロック塀などには近寄らない。



地震後の行動

火災や津波 確かな避難

- ◆地域で大規模な火災の危険がせまり、身の危険を感じたら、一時集合場所や避難場所に避難する。
- ◆沿岸部では、大きな揺れを感じたり、津波警報が出されたら、高台などの安全な場所に素早く避難する。



正しい情報 確かな行動

- ◆ラジオやテレビ、消防署、行政などから正しい情報を得る。



確かめ合おう わが家の安全 隣の安否

- ◆わが家の安全を確認後、近隣の安否を確認する。



協力し合って 救出・救護

- ◆倒壊家屋や転倒家具などの下敷きになった人を近隣で協力し、救出・救護する。



避難の前に 安全確認 電気・ガス

- ◆避難が必要な時には、ブレーカーを切り、ガスの元栓を締め、避難する。



今から始める!

命を守る! 家具転対策

家具転対策とは、家具類の転倒・落下・移動防止対策の略です。



なぜ家具類に地震対策が必要なの?

けが・火災・避難障害等の危険があります!



近年発生した地震で、けがをした人の3~5割は家具類の転倒・落下・移動が原因でした。大地震では、テレビや、タンスなどが不意に落ちたり倒れてきます。倒れた家具が出入口を塞ぎ、割れたガラス等が逃げ道を阻みます。さらに、家具や本棚の中にある本などがストーブなどに転倒・落下して出火する危険もあります。

高層階では揺れが大きく、長く続く傾向があるので「移動」対策も心がけましょう。

けが



火災



避難障害



身近なものを利用しての救出・救護

もしもの時に役立つ!



災害時、すみやかに逃げ遅れた人の救助や救護が必要な場合、身近な物が救助道具として活用できます。防火防災訓練では、様々な救助方法の知識と技術が身につけることができます。訓練に参加して「もしも」に備えましょう。

脱出できない人の救出

角材などで、てこの原理を利用して持ち上げる。



- 支点にするものは堅い角材や鉄パイプなどを使用。
- はさまれている人への声掛けをして安心感を与える。
- 周囲の人に声をかけて応援を求める。
- 持ち上げて出来た隙間等には、急に崩れないように、角材などを利用してあて木をする。

ジャッキを使って脱出できるすき間をつくる。



- 隙間があれば、車用のジャッキを活用できます。
- 持ち上げる高さは、救出に必要な高さとして、崩れ防止に注意しましょう。

不安定なところは避け、なるべく安定しているところを選び板などを敷いた上でジャッキを使いましょう。



閉じ込められた人を救出

ゆがんで開かなくなったドアをバールでこじ開ける。



- バールや堅い長いものを活用し、てこの原理でドアをあける。
- ある程度隙間ができたなら、堅い角材などであて木をして、空いた隙間が縮まらないようにする。
- 木製のドアなどは、のこぎりや斧などで破壊することもできます。

救助器具として活用できるもの

身近な道具を救助道具として活用しましょう。



けが人の運び方

活用できる資器材がないとき



- 重症のけが人には適しません。
- 長い距離は搬送しないようにして、最小限の距離にしましょう。
- 進むときは足側から、上り坂は頭側から進みます。

着衣で担架をつくる



- 物干し竿2本とトレーナーなど4～5枚で応急的な担架が作れます。
- 搬送する際は、できるだけ多くの人で搬送しましょう。



- 1 毛布を広げて、1/3 くらいのところに竹竿を1本置きます。
- 2 竹竿を包み込むように毛布を折り返します。
- 3 折り返された毛布の端に、もう1本の竹竿をおきます。
- 4 その竿を包み込むように残りの毛布を折り返します。

椅子を利用する



搬送者が椅子の左右につく場合



搬送者が椅子の前後につく場合



必ず背もたれ付き椅子を利用しましょう。



手軽な家具転対策ありませんか?

壁などに穴を開けない方法もあります。

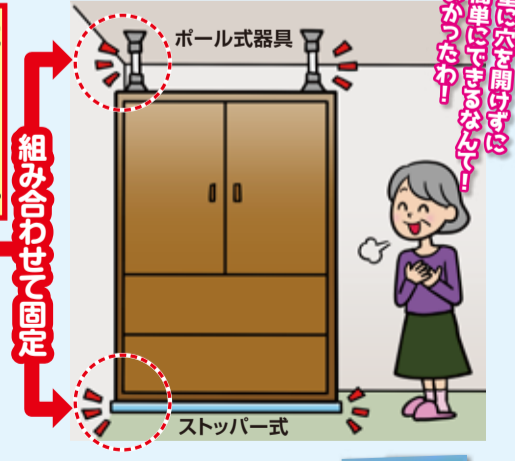
「壁や家具に傷をつけたくない」場合にはネジ留めが不要な対策器具を組み合わせて固定する方法をおすすめします。例えば、ストッパー式器具とポール式器具の併用によりL型金具のネジ固定と同様な高い効果が得られます。

また、家具の配置も重要です。通路や出入口付近、寝室にはできるだけ家具類を置かないようにするとともに、もし置く場合には、家具の向きにも注意しましょう。

ポール式+ストッパー式



家具をL型金具で壁に固定すると同様な高い効果があります!



詳しくは、「家具類の転倒・落下・移動防止対策ハンドブック」をご覧ください!

東京消防庁ホームページに掲載しています。また冊子版は、お近くの消防署にも配置しておりますのでお問合せください。

優マークは防火上優良と認められた、安全安心な建物の目印です。

優マーク制度は創設10周年を迎えます!



優マーク(優良防火対象物認定証)

「優マーク」のある建物は厳しい審査をクリアし、法令の基準以上に高い防火安全に取り組んでいる建物です。

優マークを表示している建物は…

- ◆火災による被害が少ない!
- ◆もしもの時にも安心な対応ができる!
- ◆防火へのさまざまな取組みを行っている!
- ◆継続的に消防法令を守っている!



優マークが認定されている建物を携帯・スマートフォンやパソコンから検索できます。



東京消防庁ホームページ
<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/>
 東京消防庁モバイルホームページ
<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/mob/>



消防団員募集中!

地域防災力の要となるのが消防団です。



〈入団条件〉

①年齢18歳以上の方 ②健康な方 ③消防団の区域内に居住、勤務又は通学している方

〈問合せ先〉

23区にお住いの方は最寄りの消防署・消防団本部まで、市町村にお住いの方は各市町村まで。

■詳しくは、東京消防庁HP「首都東京を守る消防団」をご覧ください。

<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-danka/index.html>

ご存知ですか? 就職活動を支援する特別区学生消防団活動認証制度

この認証制度は、大学・大学院・専修学校及び各種学校の学生が特別区の消防団員として消防団活動を行った功績を東京消防庁が認証し、「特別区学生消防団活動認証状」を交付する制度です。就職活動をする学生と災害対応力のある人材を求める企業の両方を支援します。



Miniコラム

消防技術安全所展示室がリニューアル!

「消防技術安全所」は、消火や装備などに関する科学的な技術改良・検証等を行っており、これらの成果や実験用資器材、実験映像を展示室で公開しています。

今年4月には、実際に触って体験できる展示物や映像等を自由に視聴できるコーナーを新たに設けました。ぜひご来館ください。

- 場所 東京消防庁消防技術安全所1階 (渋谷区幡ヶ谷1-13-20)
- 開館時間 9:00~16:30
- 休館日 土日祝日・年末年始
- 入場料 無料
- ホームページ <http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-gijyutuka/>



お楽しみプレゼントコーナー

ご応募いただいた方の中から抽選で119名様に「東京消防庁オリジナル マイ保冷温ランチポット」をプレゼント!!

〈応募方法〉

ハガキに①住所②氏名③年齢④性別⑤職業⑥広報とうきょう消防をご覧になった感想をご記入のうえ、下記の宛先までご応募ください。

〒100-8119(住所不要)
 東京消防庁広報課
 「広報とうきょう消防」編集担当

〈締切〉平成28年9月5日(月)必着 (応募はお1人様につき1枚とさせていただきます。)

〈当選発表〉プレゼントの発送をもって発表といたします。

※応募の際にご記入いただきました個人情報につきましては、抽選及びアンケート集計事務にのみ使用させていただきます。

前回(第21号)プレゼントコーナーへのたくさんのご応募ありがとうございました。

東京消防庁オリジナル マイ保冷温ランチポット-360ml ※色は選べません。



広口デザインの保温ポットです。温かいお飲み物も冷たいデザートも食べごろの温度をしっかりとキープします。

